

ISOC-JP（インターネット学会日本支部）

Internet Society（ISOC）は、インターネット関係者が個人としても加入できる学協会である。1994年8月にはISOCの日本支部としてISOC-JPが結成された。具体的な活動としては、日本インターネット協会（IAJ：企業が会員）やAPNGと共同して、次のようなことを行っている。

- (1) 年に3回開かれるIETF（Internet Engineering Task Force）の会議に出席した人から報告を聞き、インターネット関係の技術および標準化の動向について研究する。
- (2) 年に何回か講演会を行う。
- (3) 研究グループにより研究を行う。たとえば言語の国際化（Internationalization）については、東京工大の太田昌孝氏を中心にした研究グループがある。
- (4) 他のいろいろなグループと共同研究を行う。このISOC-JPへは、ISOCの会員（年会費＝35米ドル）ならば誰でも参加できる。参加費は無料である。興味のある方は、ishida@u-tokyo.ac.jpまでメールを寄せられたい。
- (5) APNG（アジア・パシフィック・ネットワーキング・グループ）の活動を支援する。

（石田晴久・日本インターネット協会会長）

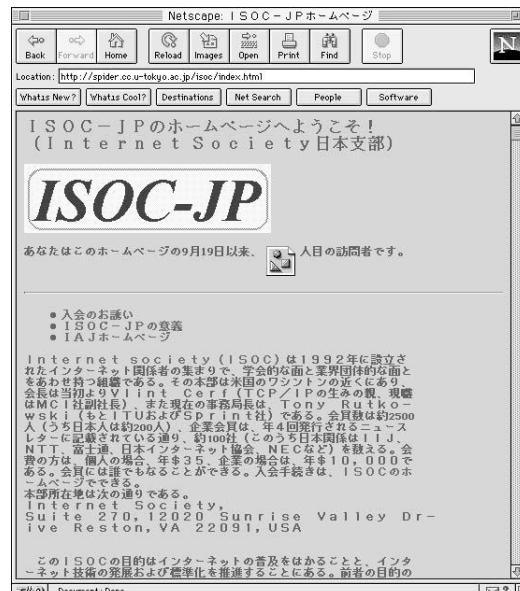


図1 ISOC-JPのホームページ

<http://spider.cc.u-tokyo.ac.jp/isoc/index.html>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp